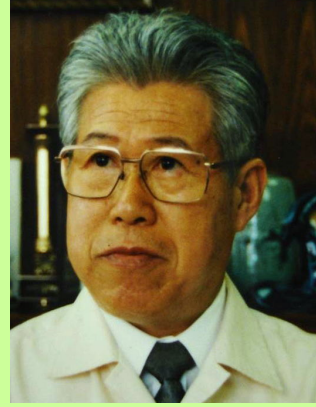


# 昭和精工株式会社



神奈川県  
横浜市金沢区福浦1-4-2

1954年(昭和29年)設立  
TEL 045-785-1111

<http://www.showa-seiki.co.jp>

代表取締役  
木田 正成

## 超高精度塑性成形ツールの開発、設計、製造

塑性成形ツールの開発、設計、製造を得意とし「あくなき精度への追求」のため、ユーザーニーズを先取りして自主的に研究開発を実施。飲料缶のプルトップ用のツールでは、国内シェア50%を実現・維持している。

### 飲料缶のプルトップ用のツール製造

昭和精工株式会社は、創業以来、一貫して塑性成形（材料に大きな力を加え変形させることによって、目的とする形状に加工すること。）ツールの開発、設計、製造を行っている。

特に精密研削・精密仕上げ技術を活用して、飲料用缶のプルトップ用のツールを製造。国内シェア50%を実現・維持している。



飲料缶のプルトップ

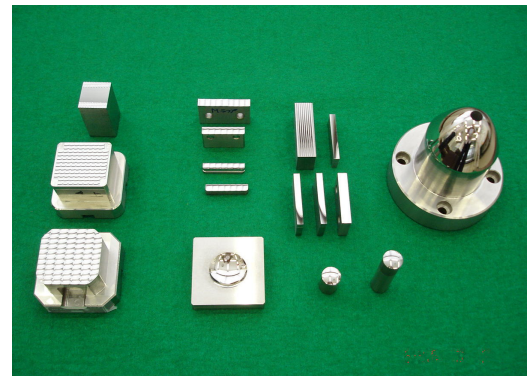
### 熟練技能者による精密加工で優位性を確保

飲料缶のプルトップは、多少の圧力では中身が漏れ出さないようにすると同時に、開けるときにそれほど力を加えることなく開けられるよう、切れ口の厚さなどを精密に加工する必要がある。昭和精工株式会社では、その両面の性質である難しい課題を、数十年の経験が培った高度なノウハウを持つ熟練の技能者によって解決。その技術は、安全・品質管理面を厳しく要求される国内の飲料缶メーカーに支持されている。

### 減速のない開発

さらに最近では、仕上面アラサ3ナノを実現する硝子レンズ成形ツール（フライアイ）を開発。

コア技術のさらなる高度化をはかり、超高精度塑性成形技術を開発し、海外ではマネの出来ない成形ツール、装置を生み出し続けている。



硝子レンズ成形ツール